

結婚50周年をお祝いしました 金婚をお祝いする会

10月22日に美郷町公民館で「金婚をお祝いする会」が開かれ、昭和35年に婚姻届を提出したご夫婦31組が出席しました。会では、せんはた松並コーラス・雁の里コーラス・せせらぎコーラスによるお祝いの歌に続いて松田町長があいさつし、「これからも円熟した、味わいのある夫婦として更にお二人で歩いていてもらいたい。みなさま方の50年に敬意とお祝いを申し上げます」と述べました。その後、夫婦一組一組に讃詞と記念品を手渡して金婚を祝いました。祝宴では美郷町蛙柳会による唄や踊り、昔語りなどが披露され、夫婦の記念の日に華を添えました。



ご長寿おめでとうございます 畠山イデさん(四ツ屋)が満100歳

10月28日に畠山イデさん(四ツ屋)が満100歳の誕生日を迎えられました。この日、松田町長はイデさんが入所する特別養護老人ホーム真昼荘を訪れ、長寿祝い金を手渡しました。松田町長から「たくさんのご苦労、努力があったからこそ、こうしてお元気でいらっしゃるのだと思います。さらに長寿を重ねてください」と祝福されると、イデさんは大きく頷き顔をほころばせていました。イデさん、これからもお体に気をつけて長生きしてください。

地域の安全と安心のために 交通指導員・防犯指導員辞令交付式

11月1日に役場庁舎で町の交通指導員と防犯指導員の辞令交付式が行われ、交通指導員29名、防犯指導員9名に松田町長から辞令が交付されました。辞令交付後、松田町長は「交通事故や犯罪の無い安全・安心なまちづくりのため、ご協力いただきたい」とあいさつを述べました。このたび辞令が交付された両指導員の任期は平成24年10月末までの2年間です。指導員の皆さん、2年間よろしくお願いします。



消したかな あなたを守る合言葉 秋の火災予防運動が行われました

11月7日から13日にかけて秋の火災予防運動が実施され、初日にあたる7日には大畑橋付近(金沢東根)の河川敷で出動式が行われました。また、出動式終了後には各分団が3地区に分かれて防火広報パレードを行い、火や暖房器具の取り扱いに注意するよう呼びかけました。このほか、運動期間中は分団員が各家庭を訪ね、火災予防や住宅用火災警報器の設置などを呼びかけるチラシを配布しました。



親子いっしょにエアロビクス 3園合同子育て支援 親子ふれあい体操

11月12日に千畑幼稚園・保育園(なかよし園)で3園合同の子育て支援事業が行われ、入園前のお子さんとそのご家族27組が参加しました。講師に照井美智子さん(上深井)を迎え、お子さんを抱っこしながらの体操や、親子で手を取り合っただけストレッチなどを楽しみました。町では入園前のお子さんがあるご家族を対象に無料の遊び場を提供する「子育て支援事業」を行っています。詳しい日程は毎月の広報紙でお知らせしています(関連記事30ページ)。



羽州街道をテーマにまちづくりを考える 美郷まちおこしフォーラム

11月13日に名水市場「湧太郎」で美郷まちおこしフォーラム(同実行委員会主催)が開かれ、町内の観光関係者や町民の皆さん約80名が参加しました。フォーラムでは、美郷町の六郷地区の中心部が羽州街道のほぼ真ん中にあることを魅力的な観光資源として活用する方策が議論されました。討論会に参加したのは羽州街道交流会の代表幹事(秋田市)や西鳥羽敬一町観光協会副会長など5名。「羽州街道の真ん中に位置することと清水や寺めぐりを合わせて美郷らしさを発信してはどうか」「周辺の市と連携することで美郷の魅力が一層増すのではないか」という意見が聞かれました。



「定番づくり」

美郷町長 松田 知己



OTAふれあいフェスタで美郷町をPRする松田町長(11月6日)

12月に入ると、FMラジオで必ずと言っていいほど流れる曲、山下達郎さんの「クリスマス・イブ」。私はファンの人です。時期に関係なく聴いています。山下達郎さんを知らない方もきっとこの曲のイントロを聴くと、「あ、あの曲ね」と分かると思います。そうです、この時期の定番曲です。

しかしおもしろいもので、時期に合わせた「定番」と言われるものは、普段は忘れていてもその時期や状況になると、ひょっこりと自然に顔を出してきます。前出の曲以外では、この時期の食卓の定番は鍋物ですし、左党の定番は熱燗だろうと思えます。また、お茶うけの定番は燗りがっこでは無いでしょうか。

こうした「定番」については、習慣的なことから「この時期だったらこれだろう」と自然に認識されてきたものもあれば、誰かが何かのきっかけから創り上げてきたものもあるだろうと思えます。食事に関するものはきっと前者ですし、音楽やファッションなどは後者だろうと思いますが、いずれにしても「定番と認識されること」は重要であると思うところです。なぜなら、定番と認識されることは「特徴的な個性」だから

です。では「時期」を「地域」に置き換えて考えてみましょう。やはり成り立ちますし、私の立場では成り立たせなければならぬ課題でもあると思っています。「地域の定番」と言っていただけのもは地域の特徴的な個性であり、そしてそれがお土産になるからです。

そうしたことから町では先般、既に認知されている「美郷の定番」、日本酒やサイダーのほかに、燗りがっこなどの漬物や味噌・醤油、りんごジュースや菜種油などを掲載した「美郷の特産品カタログ」第一弾を作成しました。「美郷と云ったらこれが定番でしょう」と言ってもらえる定番づくりを、町内に加えて大田区などの消費者にも仕掛けていきます。

現在、道の駅などにもそのカタログを置いてありますので、みなさんも美郷の定番づくりにどうかご参加ください。…ちようど今が、お歳暮の時期ですから…。